

サポーターカンファレンス参加申込時にいただいたクラブに対するご意見一覧  
(一部分かりやすい表現に修正している部分もございます)

※個人・企業を特定ないし誹謗中傷をするような表現は一部修正をしている部分もございます

※一部分かりやすい表現に修正している部分もございます

<ホームタウン活動に関して>

▼学校訪問について

- 学校訪問が多く実施されたのはよかった。
- 学校訪問の回数を増やし、認知度を上げる。
- 新潟は広いので活動も大変だと思うが、今の小学校訪問や子供中心の展開はいいと思う。

学校訪問は、クラブコンセプト(未来のある子供たちに『夢を与えられる人づくり』に貢献します)に基づく大切な活動の一つです。一つひとつの機会を大切に、これからも継続してまいります。

- 遠隔地の学校訪問はzoomがほとんどでした。やっぱり、子どもたちには生で見せたい。学校訪問をやってほしいです。(私も教員です。私の勤務校に訪問してもらえませんか？待ってます。)

ご意見をいただき、ありがとうございます。聖籠町にあるアルビレッジでのトレーニングを終えてからの移動、平日の授業時間での実施になりますと、直接訪問するには、どうしても限界がございます。今年は、長岡市・三条市の小学校に訪問させていただくなど、学校と選手のスケジュールや移動距離・時間を踏まえて、最大限できる範囲で調整・実施しました。

選手が直接訪問し、子どもたちと交流できる機会は貴重なものと考えております。学校、チーム、選手のスケジュールと移動距離などの諸条件を考慮して、調整・検討してまいります。

なお、個別にいただくご要望のすべてにお応えすることはできかねますので、ご理解を賜りますようお願いいたします。

▼各地域での活動について

- せっかく県内全域をホームタウンにしているのに、今季はファンサービスのイベントが少ないように思えてもったいないと思いました。
- 三条市で行われているマルシェに参加し広報やファンサービスをお願いします。
- 新潟県がホームタウンなのだから、上中越でももう少しファン、サポーターとの交流イベントをしてほしい。
- 長岡市でもっとイベントをしてほしい。

ご意見をいただき、誠にありがとうございます。スタジアムのある新潟市を中心とした活動が多くなっていると認識しております。県内各地域に選手が足を運ぶタイミング・可能性を探り続けることはもちろんですが、それ以外にも企画・イベントが実施できないか、営業・事業の各部署とも協議してまいります。

- 真摯に参加して下さる自治体とそうでない自治体と温度差が大きく全県対象に無理があるのではないかと感じられます。

2019年に新潟県全30市町村がアルビレックス新潟のホームタウンとなり、各市町村の皆様からは、ホームゲームでの市町村デーの実施をはじめ、多大なるご協力をいただいております。また、市町村長様をはじめ、各市町村の皆様にはホームゲームに足をお運びいただく機会も多くございます。

市町村ごとに温度差があるように見えるのは、当クラブから各市町村の皆様への有益なご提案やコミュニケーションが、まだまだ足りないものと認識しています。

#### ▼選手による活動参加について

- たくさん実施していただきたいですが、選手の負担にならないようにお願いします。
- 選手に負荷のかかるような、イベント出演で一部のファンサがあるのは違和感があります。学校訪問や中断期間などにしていただきたい。
- 選手の負担にならない範囲で増やして欲しい(なるべく多くの選手に)。

試合・トレーニングのスケジュールや、選手個々の状況を考慮して、選手とコミュニケーションを取り、理解・了解を得たうえで参加・協力してもらっています。

- 田上、島田など個人的にホームタウン活動をしてた選手が連続で抜けてしまった。穴埋めをするためにも活動は検討するべきだと感じる。

今シーズンで新潟を離れる島田譲選手には、5年に渡り地域とクラブに多大な貢献をいただいたことを、改めて感謝申し上げます。最近では燕市子育てサポーターの任命・活動がございましたが、それ以外にもWEリーグ理事としての活動・発信や、アルビジヨブスクの発案・実施など、地域とクラブに多くの財産を残してくれました。

田上大地選手の発案から始まった”ニイガタガミカタ”プロジェクトは、フードドライブの継続的な実施に加え、今年から新設された「スマイルパートナー」のご協賛社様のおかげで、ひとり親世帯の親子を対象にしたバスツアーを昨年に引き続き実施することができました。選手の想いをクラブが引き継ぎ、継続的に活動しておりますので、ご注目をいただくとともに、活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

#### ▼後援会について

- いつもクラブ、後援会イベントを企画していただき、ありがとうございます。ご当地選手がその土地に出向く事は、新潟を知っていただける機会にもなると思うので、これからも継続していただきたいです。可能でしたら、中央区でも開催していただけたら嬉しいです。
- 県北でのイベントありがとうございました。

温かいお言葉をいただきありがとうございます。ホームゲームではさまざまな地域から皆様にご来場いただいております。逆にこちらからもさまざまな地域へ訪問させていただき、イベント開催等を通じて、皆様と選手が交流できる機会をつくらせていただくことは、後援会としましても大変意義のあることと考えておりますので、今後も継続してまいります。

#### ▼その他

- 前任の社長が目指していた学校などの選手交流で日本一を目指すのは現在も続けてほしいです。

貴重なご意見をいただき、ありがとうございます。2019年にホームタウン活動回数で日本一を目指したことがあり、2,041回で2位という結果が出たことがあります。これは、学校訪問などの選手が参加する活動に限らず、スクールコーチが担当している普及活動をはじめ、例として挙げきれないほどの活動を網羅したもので、Jリーグでは毎年全クラブを対象に活動調査を実施し、結果を公開しています。

ホームタウン活動・社会連携活動において、何に対して数値目標を設定するかは、当クラブに限らず他のJリーグクラブでも

課題となっていますが、現時点で活動回数を目標とすることは考えていません。活動を通じてクラブに興味・関心を持っていただき、スタジアムに足をお運びいただく方を増やすこと、サッカー以外のトピックでメディア各社様にお取り上げいただくことを通じ、最終的にマネタイズにつなげることを目指します。さまざまな活動を通じ、クラブの可能性を広げ、価値を高めていきたいと考えています。

- 食育の取り組みなど素晴らしいと思います。川崎のように、子どもたちにとってチームが身近な存在になると嬉しいです。
- 普段サッカーやアルビに自分から触れる機会のない人達にアルビを知ってもらい、興味を持ってもらうきっかけの第一歩としてホームタウン活動の意味は大きいと思います。今までも毎年さまざまな活動を行ってきたと思いますが、引き続きがんばってもらいたいです。応援しています。

励みになる言葉を頂戴し、ありがとうございます。さまざまな活動を実施しておりますが、より多くの方に知っていただき、お届けする必要があると考えています。

地域の皆様にとって必要な存在だと思っただけ、愛されるクラブとなれるよう、これからも全力を尽くしてまいります。